

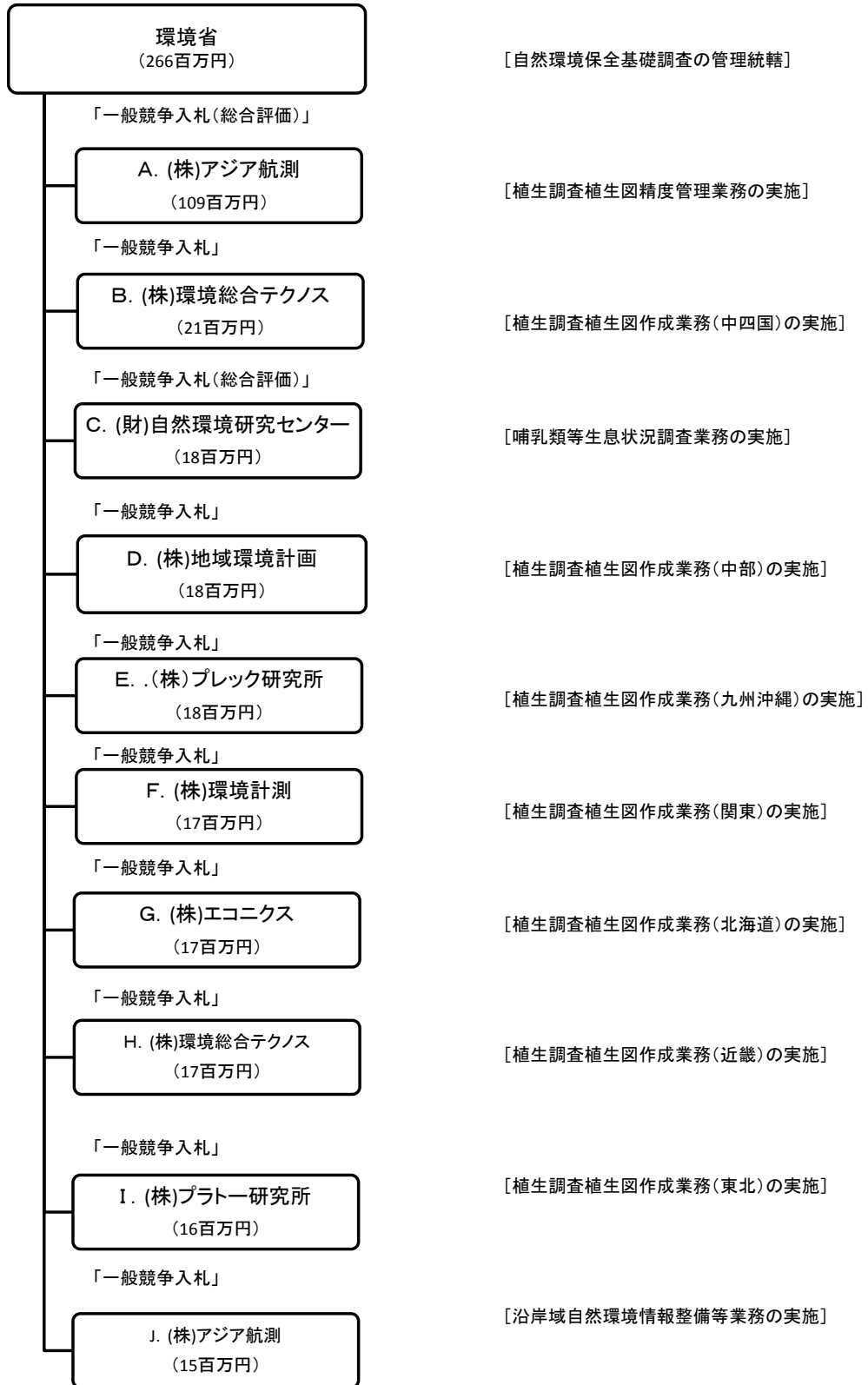
平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	自然環境保全基礎調査費		担当部署	自然環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和48年度		担当課室	生物多様性センター		センター長 奥山 正樹		
会計区分	一般会計		施策名	5-1 基盤的施策の実施及び国際的取組				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	自然環境保全法第4条 生物多様性基本法第22条		関係する計画、通知等	生物多様性国家戦略2010				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	わが国の自然環境の現状を把握するとともに、自然環境の時系列的な変化状況の把握を、昭和48年度から30年間以上にわたり継続的に実施。わが国の生物多様性に関する基礎情報を収集し、保護地域の設定、野生動植物の適切な保護管理など、わが国の自然環境行政の推進のために不可欠な基礎情報を提供する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	わが国の自然環境の現状や変化状況を把握するため、以下の調査を継続的に実施。 ○わが国の自然環境の状況を示す基盤的な地図であり、環境影響評価等の基礎資料となる縮尺1/25000植生図を作成する。 ○生態系や農林水産業等に大きな影響を及ぼし、社会的な問題となっている哺乳類等について、全国的な生息状況とその推移を調査し、野生生物管理の基礎情報を提供する。 ○砂浜・泥浜海岸について、全国的な変化状況を把握し、沿岸域管理の基礎情報を提供する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	332	250	270	250	224	
	執行額	323	246	266				
	執行率 (%)	97%	98%	99%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (24年度)
	縮尺1/25000植生図を整備・提供する。	成果実績	整備図面数/ 全地形図面数		1,909/ 4,342	2,158/ 4,342	2,409/ 4,342	2,605/ 4,342
		達成度	%		44	50	55	
	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	対象となる哺乳類の生息動向を把握する。	成果実績	生息動向把握種数/対象哺乳類種数		5/10	5/10	5/10	—
		達成度	%		50	50	50	
	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	砂浜・泥浜の変化状況データを提供する。	成果実績	km		—	—	1,500	—
		達成度	%		—	—	20	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	縮尺1/25000植生図の整備図面数。	活動実績	図面数		226	283	217	—
		(当初見込み)			—	—	(217)	(195)
	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	生息動向を検討した哺乳類の種数。	活動実績	種数		5	5	5	—
		(当初見込み)			—	—	(5)	(5)
活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
砂浜・泥浜海岸の変化状況データの整備延長。	活動実績	km		—	—	1,500	—	
	(当初見込み)			—	—	(1,500)	(2,000)	
単位当たりコスト	約1,010(千円/図面)		算出根拠	縮尺1/25000植生図1図面を作成するのに必要な費用(千円)				
	約3,600(千円/種)		算出根拠	1種あたりの生息動向解析に必要な費用(千円)				
	約20(千円/km)		算出根拠	砂浜・泥浜海岸1kmの変化状況を把握するのに必要な費用(千円)				
平成23・24年度 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.5百万円	0.5百万円	現地調査における人員の見直し				
	職員旅費	0.09百万円	0.09百万円					
	委員等旅費	0.5百万円	0.5百万円					
	自然環境保全調査費	249百万円	223百万円					
計	250百万円	224百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状・予 算	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検 結果	<p>本事業は、わが国の自然環境の現況とその変化を捉え、自然環境保全施策に活用することを目的として、自然環境保全法に基づき昭和48年から実施している調査である。自然環境保全施策や環境影響評価の資料として広く利用されており、今後とも継続的に自然環境の現況とその変化を調査していく必要がある。</p> <p>各請負契約の実施にあたっては、一般競争入札等の価格競争により実施しているものであり、予算の範囲内で十分な成果を上げている。引き続き競争性のある契約を実施するとともに、植生図整備事業について、人工衛星データを活用した図化作業の簡略化の検討を行うなど、効率的に自然環境の現況を調査できるよう努める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部 改善	調査の効率的な実施により、予算を縮減すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮 減	現地調査における人員の見直しにより経費を節減し概算要求額を減額。		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>事業仕分け第1弾 事業番号1-60 生物多様性の保全等の推進に必要な経費(その他) (2) 自然環境保全基礎調査費</p> <p>「WGの評価結果」 予算要求の縮減(1/3程度を縮減) (予算計上見送り 1名、予算要求縮減:a半額 1名 b1/3程度を縮減 1名 cその他 4名(40%1名、10%1名、その他2名)、予算要求通り 6名)</p> <p>「とりまとめコメント」 基本的に、このような調査を行うことについて各評価者は前向きな発想を持っていることを前提とした上で、緊急性の意味において、今すぐこれほどの予算を拡充して行わなければならないかという点に関して、本日の説明では説得力が乏しかった部分があった。 よって、当ワーキング・グループとしては、予算要求の縮減(1/3程度を縮減)を結論とする。</p>			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(株)アジア航測			F.(株)環境計測		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	植生調査精度管理費	109	人件費	植生調査費(関東)	12
			旅費	現地調査等	2
			物品購入費	空中写真等	1
			その他	会議開催経費(会場借料、謝金等)、印刷費等	2
計		109	計		17
B.(株)環境総合テクノス			G.(株)エコニクス		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	植生調査費(中国四国)	15	人件費	植生調査費(北海道)	11
旅費	現地調査等	2	旅費	現地調査等	2
その他	会議開催経費(会場借料、謝金等)、印刷費等	4	物品購入費	空中写真等	1
			その他	会議開催経費(会場借料、謝金等)、印刷費等	3
計		21	計		17
C.(財)自然環境研究センター			H.(株)環境総合テクノス		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	特定哺乳類調査費	18	人件費	植生調査費(近畿)	13
			旅費	現地調査等	1
			その他	会議開催経費(会場借料、謝金等)、印刷費等	3
計		18	計		17
D.(株)地域環境計画			I.(株)プラトー研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	植生調査費(中部)	11	雑役務費	植生調査費(東北)	16
旅費	現地調査等	2			
物品購入費	空中写真等	2			
その他	会議開催経費(会場借料、謝金等)、印刷費等	3			
計		18	計		16
E.(株)ブレック研究所			J.(株)アジア航測		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	植生調査費(九州沖縄)	13	雑役務費	沿岸域自然環境情報整備等業務の実施	15
旅費	現地調査等	3			
その他	会議開催経費(会場借料、謝金等)、印刷費等	2			
計		18	計		15

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アジア航測	植生調査植生図精度管理業務の実施	109	1	87

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)環境総合テクノス	植生調査植生図作成業務(中四国)の実施	21	6	81.5

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	特定哺乳類生息状況調査業務の実施	18	1	87.7

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)地域環境計画	植生調査植生図作成業務(中部)の実施	18	5	77

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ブレック研究所	植生調査植生図作成業務(九州沖縄)の実施	18	2	77

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)環境計測	植生調査植生図作成業務(関東)の実施	17	5	85.2

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エコニクス	植生調査植生図作成業務(北海道)の実施	17	6	82

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)環境総合テクノス	植生調査植生図作成業務(近畿)の実施	17	6	78.9

I.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)プラトー研究所	植生調査植生図作成業務(東北)の実施	16	6	73

J.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アジア航測	沿岸域自然環境情報整備等業務の実施	15	2	76.6